

2018年3月15日(木) ハコラク4月号 掲載

医療の現場から『乳がん検診(マンモグラフィー)とは』

診療放射線技術科 青木 茉維 診療放射線技師

医療の現場から

## 乳がん検診(マンモグラフィー)とは

函館中央病院

診療放射線技術科  
診療放射線技師

あおき  
**青木**

まい  
**茉維**さん



最近、芸能人が病気になるTVなどで話題になりますが、その中でも2017年、特に耳にすることが多かったのは「乳がん」ではないでしょうか。日本では生涯で乳がんになる確率は女性の11人に1人と言われています(2013年)。欧米では罹患率も死亡率も減少傾向にあるのに対し、日本では両方とも増加傾向にあります。その原因の1つとして考えられるのが日本の乳がん検診の受診率が約34.2%と低い事です。乳がん検診の目的は、症状が現れる前の早期乳がんを発見し、乳がんによる死亡率を減らす事です。早期に見つかった場合(ステージ0、1)での生存率は95〜100%、進

行した乳がん(ステージ4)では27%と差が出ます。そのため、定期的に検診を受けることが大切です。

乳がん検診は主にマンモグラフィーといわれる乳房専用のレントゲン装置で行われます。乳房を片方ずつ撮影用の板で挟んで圧迫して撮影します。マンモグラフィーでは正常な乳房も乳がんのしこりも石灰化も白く写るため、それらの重なりを無くしがんを見つけやすくするため、圧迫をして乳房を薄く伸ばす必要があります。また、圧迫することで被曝も軽減することが出来ます。しかし放射線技師の技量によって病気の見えやすい写真をとれるか、写真に乳房を全て含められるかなど大幅に変わります。受診に際しては、マンモグラフィーの講習を受け、試験に合格し正しい知識を持った技師や読影医師の教育・研修と撮影装置の精度管理が適切に行われている施設を選択することをお勧めします。

私たち放射線技師は受診者様の不安・苦痛を減らし、より良い写真をとれるよう日々努力を重ねていますので、受診に際しては何なりとご相談ください。この機会に一度乳がん検診を受診されてみてはいかがでしょうか。



函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyou.com/>

- 診療科目/内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全24科目
- 受付時間/8:30~11:30、13:30~16:00※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。
- 休診日/日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)